

一、二六年度の運動概観

一、二六年度の運動は主として、立憲の精神及び第二回大會の改正綱領精神に則りて全国的階級的統一無産階級の結成に全勢力を傾注したるといふ得るのである。

即ち昨年十二月農民労働党の結成禁止後より本年三月の両土の労働農民党の結成及び十月の分裂に至る迄で我々の困難と障害を度して、幹部各々の結成、八幡支部の組織準備等々団体と協力一致して之が實現に努力し積極的之を支持しこゝろを事々観取する事が出来得たのである。

労働農民党の結成、結果、党内部の仕事其他の活動は一切之を停止したため、党内部の組織は昨年度より未完の儘本年度に至りて右再結成されず、各部門の活動は結成禁止の状況に在り、宣伝部、伝播部、出版部が僅かに活動したるに過ぎず、殊に第二回大會に於て決議したる党費徵集の件は組織未完の結成徵集する事を停止し、僅かに党費員の提出する維持費に依り現状を維持するに止じまり、従つて各部門の活動も活動を断害するに至りたる重大なる原因は此の財政的窮乏に於てた事を認め得るのである。

殊に此の財政的窮乏の中在り下ら第十回補欠選挙に際して候補を擁立して、未だ可き普遍によるの選挙に對する党自身の訓練及び一般無産大衆の政治的階級的教育を施した事、更に八幡支部に於ては小教下ら常に階級的利害の爲に奮闘して無産大

衆の支持を得て居る事々々を認め得るのである。

更に過去一、二年間に亘りて積極的の支持して来た労働農民党の結成を促した民衆階級自身の運動を起さなければならなくなつた事は、労働農民党内部が於て主要な教訓なる提出の結果遂に分裂し大衆的階級的政黨としての大衆を籠集し無産階級となりたる爲か、現今の日本に於ける資本主義の發展状態、及び九州に於ける資本主義の特殊的發展過程より考察する時、斯くする事が無産階級政黨の發展の期に於ては已むを得ざることであらう。

又税関改定を新聞が此の政治的窮乏の中に在り下ら廿四号迄で遂に刊して党の宣傳、無産階級運動の爲め大小の功績を上げて来た事を認め得るのである。

労働農民党の結成、結果、党内部の仕事其他の活動は一切之を停止したため、党内部の組織は昨年度より未完の儘本年度に至りて右再結成されず、各部門の活動は結成禁止の状況に在り、宣伝部、伝播部、出版部が僅かに活動したるに過ぎず、殊に第二回大會に於て決議したる党費徵集の件は組織未完の結成徵集する事を停止し、僅かに党費員の提出する維持費に依り現状を維持するに止じまり、従つて各部門の活動も活動を断害するに至りたる重大なる原因は此の財政的窮乏に於てた事を認め得るのである。

農本部 丁、大生